

単元名：ぼくの夢 わたしの夢  
～未来に輝くための自分探し～

男子12名 女子20名 計32名

指導者 白石 絵美

単元について

○ 児童の実態

本学級の児童は、第3学年「町のひみつ発見」において、校区の様子や校区内の公共施設及び瀬野川の魅力について、体験活動や調べ学習などで収集した情報をまとめ、伝える活動をしている。また、「みんなえがお 南小ふるさと館」において、校内に昔の道具展示室をつくらうと、仲間と協力してよりよい展示にするための方法や発表の方法を考える活動にも取り組んできた。第4学年「自然災害を知り、海田町を守ろう～みんなの命 守り隊～」では、自然災害について調べ、防災袋を作る活動を通して、自分の命だけでなく海田町に住んでいる人々の命を守るために、どのようなことができるのか考えてきた。更に、第5学年「ふるさと海田の魅力発見！～南小校区お宝発掘し隊～」では、校区の文化財について調べ、ガイドブックにまとめ、ガイドツアーで校区の魅力を地域の人々に知らせる活動をしてきた。第6学年「海田の未来を描こう」では、自分と海田町との関わりを意識しながら、よりよい町づくりについて考え、こども議会で提案を行った。その中で、海田町を大切に思い、地域社会の一員としての自覚をもち、自己の生活や生き方を見つめ、未来の主権者の一員として積極的に社会と関わろうとする態度を育ててきた。

4月に行われた全国学力・学習状況調査質問紙項目「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。」では、肯定的評価が75.0%であり、広島県平均より約7ポイント高く、総合的な学習の時間における探究的な活動には意欲的である。また、「将来の夢や目標を持っていますか。」では、90.3%であり、県平均よりも5ポイント程度高かった。一方、「自分にはよいところがあると思いますか。」では、78.1%と県平均よりも6ポイント低かった。将来の夢について漠然とした希望をもってはいるが、職業についての情報や知識をもっている児童は少なく、自己肯定感も余り高くはない。

○ 単元観

少子高齢化社会の到来や産業・経済の構造の変化、雇用形態の多様化・流動化、世界的な不況などを背景として、児童の進路を巡る環境は大きく変化し、「ニート」が社会的な問題となってきている。一方で、小学校6年間の学びの積み重ねは、児童一人一人に大きな可能性を育ててきた。6年生の後半ともなると、その学びを生かして、自分は将来どんな職業に就きたいかを考え始める時期となる。働くことの価値観や意義及びやりがいについて考え、生き方を見つめ直すとともに、自分の未来を自分の力で切り拓く術を学び、自分自身の未来像を具体的に描き、実践していこうとする意欲を育むことをねらいとして、本単元を設定した。

○ 指導観

指導に当たっては、家族や身近な人の仕事や修学旅行で関わった人々の仕事、中学生の職場体験について知ることで、様々な仕事が存在することに気付かせ、課題の設定へ繋げる。それらの仕事をグループで説明し合うことで、職業名は知っていても仕事内容については詳しく知らないことや、その職業に就くためにはどんな資格が必要なのか分からないことに気付かせ、情報収集の必要性を感じさせる。その後、自分の調べたい職業についてインタビューをしたり本やインターネットで調べたりすることで、仕事内容や必要な資格等について情報収集させる。更に、調べたことをペアやグループで交流し合い、学級全体で「職業ミニ図鑑」にまとめることにより、様々な職業についての知識や情報を得させ、職業観を広げさせるとともに、自分の将来が様々な可能性に満ちていることや自分のよさを感じさせたい。

また、『ようこそ先輩』として海田町出身の著名人や校内の様々な職種の先生方の話を聞くことで、働くことがお金を稼ぐ手段だけに留まらず、やりがいや生き甲斐に繋がっていること、職業に就くためには努力や様々な経験や資格等が必要であることにも気付かせる。更に、「明日へのステップ計画表」を作成したり、「夢宣言」に表したりすることにより、今後の生活や将来に対して具体的な見通しをもたせ、今できることを考え実践する意欲をもたせたい。そして、将来の自分について考えたことや今の自分にできること・やらなければならないことを、これまで支えてくれた方々に発信することで、目標に向かって前向きに努力しようとする気持ちを高めさせたい。また、単元全体を通して、国語科や道徳科、特別活動や外国語活動等との関連を図ることにより、様々な視点から、ねらいに迫りたい。

## 単元の目標及び内容について

- 社会には多くの職業があることを知り、様々な職業についての仕事内容や必要な資格等を調べる方法が分かり、自分に必要な情報を収集することができる。【知識及び技能】
- 調べた情報を整理し、「職業ミニ図鑑」に分かりやすくまとめたり、将来の自分と現在の自分を比較し、必要な努力について考え、「明日へのステップ計画表」や「夢宣言」に表したり、これまで支えてくれた人々に将来の展望を伝えたりすることができる。【思考力、判断力、表現力等】
- 職業について調べたことをまとめたり様々な立場の人から話を聞いたりすることで、自分のよさに気づき、将来のことや今しなければならぬことを前向きに考えようとする。【学びに向かう力、人間性等】

## 単元の評価規準

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・社会には多くの職業があることを知り、様々な職業についての仕事内容や必要な資格等を調べる方法が分かり、自分に必要な情報を収集している。	・調べた情報を整理し、「職業ミニ図鑑」に分かりやすくまとめている。 ・将来の自分と現在の自分を比較し、必要な努力について考え、「明日へのステップ計画表」を書き、将来の展望を「夢宣言」に表し、伝えている。	・職業について調べたことをまとめたり様々な立場の人から話を聞いたりすることで、自分のよさに気づき、将来のことや今しなければならぬことを前向きに考えている。

## 単元で育成したい資質・能力

	A	B
<b>【主体性】</b>	・多様な方法で課題解決に必要な情報を集めようとしている。 ・将来に対して具体的な見通しをもち、できることを進んで実践しようとしている。	・課題解決に必要な情報を集めようとしている。 ・将来に対して見通しをもち、できることを実践しようとしている。
<b>【思考力】</b>	・将来の自分と現在の自分を比較し、職業に対して必要な努力することを具体的に考えたり、将来の展望について分かりやすく表現したりしている。	・将来の自分と現在の自分を比較し、職業に対して必要な努力することを考えたり、将来の展望について表現したりしている。
<b>【自己理解】</b>	・自分のよさや友達のよさに気づき、学んだことを今後の生活や将来に積極的に生かそうとしている。	・自分のよさに気づき、学んだことを今後の生活や将来に生かそうとしている。

## 指導と評価の計画

全 30 時間

次 時	学習内容	評 価				
		知	考	学	評価規準	評価方法
	<b>道徳科</b> ○「桜守の話」【C-14 勤労・公共の精神】の学習を行い、働くことの意義を理解し、社会のために役立とうとする心情を養う。					
1 ～ 5	<b>課題の設定①（5）</b> ○将来の夢について考え、学習計画を立てる。 ○お仕事ウォッチングを行い、身近な人々の仕事について理解する。 ・家族や職場体験の中学生にインタビューを行い、仕事の種類や内容、働く理由を聞く。 ・修学旅行で関わる人々の仕事を観察することを通して、仕事について興味をもち、様々な仕事があることに気付く。 ○家族のお仕事ウォッチングを交流し合い、「仕事マップ」を作り、仕事について説明し合う。 ・家族の仕事や自分の知っている仕事について、内容や仕事に必要な資格・免許等を付箋に書き出し、グループで説明し合う。	○			・仕事について興味・関心をもつとともに、社会には、様々な種類の仕事（内容・理由等）があることに気付いている。	発言 行動観察 ワークシート

6 ~ 13	<b>情報の収集① (8)</b> ○「職業ミニ図鑑」を作成するために、必要な情報を収集する。 ・自分の興味のある仕事について、本やインターネット等で仕事内容や必要な資格・免許等について調べる。	○	○	・課題解決のために情報収集する方法を考え、必要な情報を収集している。	発言 行動観察 ワークシート	
	<b>まとめ・創造・表現① (5)</b> ○「職業ミニ図鑑」にまとめる。 ・調べたことを「職業ミニ図鑑」に分かりやすくまとめる。(仕事内容・資格・役割・魅力等)		○	○	・収集した情報を整理し、「職業ミニ図鑑」に分かりやすくまとめている。	発言 行動観察 ワークシート
19 ~ 23	<b>課題の設定② (5)</b> ○先人達の話聞き、将来への夢をもつ。 ・「ようこそ先輩」として、海田町出身の著名人や校内の様々な職種の先生方話聞き、現在の自分について見直し、将来への夢をもつ。		○	○	・現在の自分と比較しながら話を聞き、将来の仕事に向けて関心をもっている。	発言 行動観察
二	<b>道徳科</b> ○「強いものは美しい」【A-5 希望と勇気、努力と強い意志】の学習を行い、目標を立て、希望や夢に向かって諦めずに努力しようとする心情を養う。					
	<b>国語科</b> ○「プロフェッショナルたち」の学習を行い、自分の将来の夢や生き方について考える。					
	<b>道徳科</b> ○「夢」【A-5 希望と勇気、努力と強い意志】の学習を行い、夢や目標をもって生きていくことの素晴らしさに気づき、夢に向かってくじけず努力を続けていこうとする態度を養う。					
	<b>情報の収集② (1) 整理・分析② (1)</b> ○「明日へのステップ計画表」を作成するために、必要な情報を収集する。 ・将来の自分と現在の自分を比較し、夢の実現に向けて、どんな力が必要かを調べたり考えたりする。	○	○	○	・将来の自分と現在の自分を比較し、必要な努力について考えている。	発言 行動観察 ワークシート
26 ~ 29	<b>まとめ・創造・表現② (4)</b> ○「明日へのステップ計画表」や「夢宣言」を作成する。 ・現在の自分は、どんなことを頑張ればよいのかを考え、理想の自分になるための具体的な手立てや努力リストを作る。 ・将来の予定図(計画表)や「夢宣言」をかく。 <b>【本時 1/4】</b>	○	○	○	・将来に向けて努力することを考え、「明日へのステップ計画表」や「夢宣言」に表している。	発言 行動観察 ワークシート
三	<b>外国語活動</b> ○「What do you want to be?」の学習を行い、将来の夢について伝え合う。					
	<b>図画工作科</b> ○「12年後のわたし」の学習を行い、将来の自分の姿を立体に表す。					
	<b>振り返り (1)</b> ○単元を振り返り、自分のよさや成長を振り返る。 ・自分のよさに気づき、学んだことを今後の生活や将来に生かすことをまとめる。		○	○	・単元を振り返り、今後の生活に生かしていきたいことについてまとめている。	発言 行動観察
	<b>特別活動</b> ○「感謝の気持ちを表す活動をしよう」【(2) -イ】の学習を行い、これまで支えてくれた方々に感謝の気持ちを伝える活動を行う。					

## 本時の学習

### (1) 本時の目標

- 将来の自分と現在の自分を比較し、夢の実現に向けて努力することを考え、「明日へのステップ計画表」に表すことができる。

### (2) 整理・分析① (2) まとめ・創造・表現① (3)

- 将来に向けて努力することを考え、「明日へのステップ計画表」に表している。

【思考力、判断力、表現力等】

### (3) 本時の学習展開 (26 時間目 / 全 30 時間)

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 今までの学習を振り返り、本時のねらいを確認する。 ○「ようこそ先輩」で話をされた方は、簡単に夢を実現することができていましたか。 ・夢を実現するためには、苦勞があり、その苦勞を乗り越えるために、いろいろな努力をしていた。 <めあて> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             夢の実現に向けて、どんな努力が必要かを考え、計画表を作ろう。           </div>	◇今までの学習で調べたことや考えたこと、自分の夢等を振り返りながら、本時のめあてを確認させる。	
<div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; border: 1px solid black;"> <b>本時のゴールの見通し</b>            A：将来の自分と現在の自分を比較し、夢の実現に向けて必要な努力を具体的に考え、「明日へのステップ計画表」に順序立てながら表している。            B：将来の自分と現在の自分を比較し、夢の実現に向けて必要な努力を考え、「明日へステップ計画表」に表している。         </div>		
2 ゴールである将来の夢や目標の実現のための目標を設定し、「明日へのステップ計画表」をつくる。 ○目標実現のための中間地点の目標や将来の夢を書きましょう。 ① 将来の自分の夢 ② 目標設定 (中間地点) ○夢を実現するための具体的な手立てや自分が努力することを考えて書きましょう。 ・大学や専門学校に進学する。 ・勉強して、必要な資格や免許をとる。等 <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;">             思考の場の工夫 <b>順序立てる</b>              現在と将来の自分を比較し、夢の実現に向けて必要な力とその理由を明らかにしながら、順序立てて考えさせる。           </div>	◇将来の自分の姿を想像しながら、中学校・高等学校・大学や専門学校に進んだ時点での学習や生活等を段階を追ってイメージしたり、逆向きで設計したりしながら順序立てて考えさせる。 ◇その職業に就きたい理由を明確にし、そのために必要な資格や免許、進学先などを具体的に考えさせる。その際、自分の長所を生かすよう助言する。 ◆具体的に考えられない児童に対しては、「職業ミニ図鑑」や努力リストを参考にして書くよう助言する。 ◆明確な夢や目標が設定できない児童に対しては、「どんな人になりたいのか」を目標に考えさせる。	◎将来に向けて努力することを考え、「明日へのステップ計画表」に表している。〔思考力、判断力、表現力等〕(発言・行動観察・ワークシート)
3 ペアで意見を交流する。		

○ペアで交流しながら、自分と相手との共通点や相違点を見つけてみましょう。	◇同じ職業分野を選んでいる児童同士で、計画表を見合い、共通点や相違点を見付け、アドバイスさせる。	
4 本時の学習をまとめ、振り返る。		
<p>★めざす児童の姿</p> <p>夢の実現に向けて、いつ、どんな努力をしたらいいのかを具体的に考えることができた。自分の長所を生かし、友達のアドバイスをもとに、将来の夢の実現に向けて次の時間も考え、努力していきたい。</p>		

(4) 板書計画

ぼくの夢 わたしの夢

㉞ 夢の実現に向けて、どんな努力が必要かを考え、計画表を作ろう。

① 将来の自分の夢

② 目標設定 (中間地点)

③ 手立て・努力すること (資格・長所 等)

**朝日へのステップ計画表**

夢は、見るだけでは叶いません。夢をもち、目標を設定し、どんな努力をしていくのかをこの計画表に書くことで、夢を叶える第一歩となります。高校生の私の目標、どんな勉強や経験をするのかを具体的に書きましょう。

㉟ 今の自分の良さを生かし、いつ、どんな努力をしたらいいのか考えることができた。次の時間は、アドバイスを参考に考えたい。